

河村たかし 第2期名古屋市政

新新新マニフェスト（資料付き版）

公約守る 庶民の政治

世界のナゴヤ 本物ナゴヤ めくとい市民

日本最大の戦災復興事業をこえ、これからの100年を創る。

- 日本最大、名古屋の戦災復興事業は、100m道路、墓地の移転なども行い、民間産業の驚異的技術革新のインフラとなり、日本最強の生産都市名古屋を作りました。
- これからの100年は、戦災復興事業をこえて、新しい街づくりビジョンを生み出す時です。

それは「世界のナゴヤ、本物ナゴヤ、めくとい市民」

- 1) 最強の 防災・経済
- 2) どえりゃあ おもしろいマチ
- 3) 福祉に教育に あったきゃあ市民。
- 4) 民主主義もおもしろい

さあ踏み出そう。歴史に残るマチ ナゴヤへ。

名古屋市政 4 年の成果

マニフェスト^{*1}の 9 割以上を着手

1. 主権在民三部作

(1) 減税

すべて行財政改革により起債によらず

- 1) 平成 22 年度に市民税 10% 減税
- 2) 平成 24 年度から市民税 5% 恒久減税

3 年間で 300 億円を市民に還元: 税金還元は最大の市民サービス

(2) 地域委員会

選挙による地域委員会を

- 1) 8 モデル地区で実施を経て (平成 21・22 年度)
- 2) 7 地域で新たなモデル実施 (平成 24 年度)

(3) 議会改革

議員報酬半減 800 万円等を実現

2. 市民の生活支援

- (1) 消えた年金記録独自調査
- (2) 民間戦災傷害者援護見舞金の給付
- (3) 国民健康保険均等割額の 3% 引き下げ
- (4) ガン検診 (胃・大腸・子宮・乳・肺・前立腺) の自己負担額を 500 円に統一
- (5) 7 種類の任意予防接種費用の助成
- (6) 子ども医療費の通院費助成を中学 3 年生まで拡大
- (7) 待機児童対策の充実
 - 1) 民間保育所の充実
 - 2) コンビニ空き店舗を活用した保育所分園設置
 - 3) 家庭保育室の拡充
 - 4) 保育案内人の設置
 - 5) 25 年 4 月待機児童ゼロ実現への道筋
- (8) 水道料金の値下げ (年間最大 10%)
- (9) バス・地下鉄の学生定期券等の充実

(注) マニフェスト; 平成 21 年 4 月市長選マニフェスト、平成 23 年 2 月市長選マニフェスト、アイチ・ナゴヤ共同マニフェスト

3. 市民への情報公開

- (1) 予算編成過程の公開
- (2) 市長定例記者会見の充実（月2回を週1回に、生中継の実施）
- (3) 幹部会の公開
- (4) 市民集会の積極的な開催（公開討論会、タウンミーティング等）
- (5) 「裏金」に係わる通帳・帳簿の公開

4. 市政改革

- (1) 外郭団体の徹底検証
- (2) 市退職者が外郭団体へ再就職する際のルール「なごやルール」の策定
 - 1) 報酬の年間基本金額の上限670万円
 - 2) 業績評価制度の導入
- (3) 職員人件費10%削減
- (4) 不適正な経理処理に係る業者確認調査・再発防止策
- (5) 歩道橋ネーミングライツパートナーの募集

5. 被災地支援

- (1) 一つの自治体を「日本初まるごと」支援
 - 岩手県陸前高田市に対して
平成23年～常時20～30名、25年度は13名派遣
 - 陸前高田市中学生を名古屋市民の寄付で名古屋へ2泊3日招待(生徒342名、先生78名)。陸前高田・名古屋中学生交流ともだちプロジェクトスタート。長いお付き合いへ。
- (2) 被災県市も支援
 - 岩手県に2名、仙台市に4名派遣。
- (3) 岩手・宮城・福島、3億円(自動車94台、高規格救急車2台)支援。
 - 「応援します 東北の皆様 名古屋市民」とのステッカーを貼った96台の名古屋市民の愛情がこもった車が東北の山々をかけめぐっている。

6. どえりゃぁ おもしろいナゴヤの成長戦略

- (1) 名古屋城天守閣の本物復元検討着手、本丸御殿復元過程の公開
- (2) 「世界の金シャチ横丁」整備
- (3) 都心と港を結ぶ「あおなみ線」でSL(蒸気機関車)走行
- (4) 名古屋港のテーマパーク「レゴランド」開業に向けた周辺整備
- (5) リニア開通に向けた名古屋駅周辺まちづくり
- (6) 市役所本庁舎を重要文化財指定に向けた取り組み
- (7) 小規模企業者に対する設備投資促進助成
- (8) NAGOYA学生キャンパス「ナゴ校」設立
- (9) 「まちかどコンサート」実施
 - 音大生による「まちかどアンサンブル」
 - 名古屋フィルハーモニー等による「まちかどコンサート」

前提 本物の政治 庶民革命の原点

パブリックサーバント（公僕）の政治

まず自分を変える。自分を変えずに政治は変わらない

1. 市長の市民並み給与継続 恒久化条例提出

○4年間で1億2020万円を市民に返上

※給与（2750万円）を2/3カットで年収800万円に（1年に1950万円減）

※退職金を廃止0円に（今までは、4年の任期ごとに4220万円）

（計算）給与削減分 2750万円－800万円＝1950万円/年

1950万円 x 4年＝7800万円

退職金分 4220万円

計 1億2020万円

2. 市役所職員総人件費10%削減継続

○現在大都市最低給与 平均618万円

政策1 主権在民3大公約継続 プラス

- (1) 市民税減税5%継続 10%減税を目標に
- (2) 選挙による地域委員会の拡大
- (3) 市会議員報酬、年間800万円 恒久化条例提出
- (4) 常勤民間アドバイザー（セカンドオピニオン作り）民間登用
- (5) 住民投票条例（準拘束型住民直接請求）案提出
- (6) 議員行政コラボレーション
- (7) 市役所・市議会の情報公開の徹底
- (8) 政務秘書設置

1) 市民税減税5%継続 10%減税を目標に

1) 減税は、税金を市民のフトコロを豊かにする「最大の市民サービス」

- 名古屋市では、24年度から5%減税が既に恒久化されており、市民税減税を「元に戻す」ことは、市民税増税、庶民の負担増になる。

【今】※個人市民税：均等割り3000円が2800円に、
所得割6%が5.7%に

※法人市民税：均等割り5万円～300万円が4万7500円～285万円に
所得割 14.7%が13.965%に、12.3%が11.685%に

【今後】民主・自民政権の「庶民イジメ政策」で暮らしは厳しく。

- ①消費税増税、復興増税、②扶養控除廃止、③世帯所得は低下傾向、
④物価は上昇傾向、⑤世帯所得の向上は、現在は期待値にとどまる。

- 減税は、経済活性化、庶民の生活防衛の手段。

※庶民の生活を良くしていくには、可能であれば更なる減税。

- 寄付文化醸成 社会企業、NPOを実質的に支える。

※寄付頂いた皆様の氏名表示

2) 減税は景気対策になる。景気を良くして所得も税収も増やす。

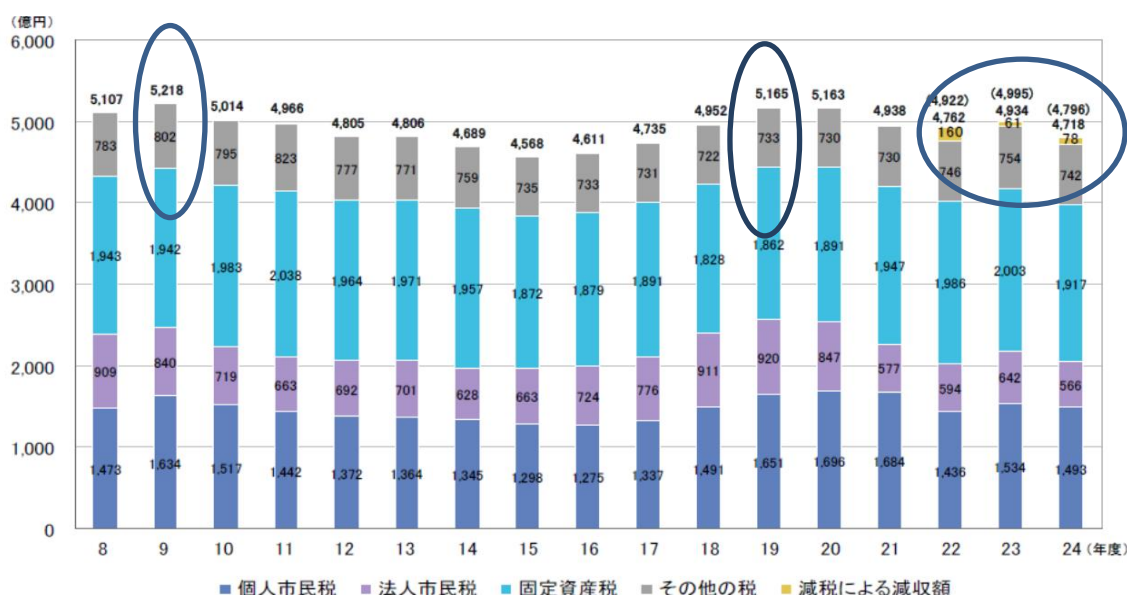
- 税額（歳入）の増加は、増税でなく景気を良くすることで実現。景気を良くするため、市民の手元に残るお金を多くして、たくさん買えるようにする。
- 市民サービスに優先順位を付けることは、絶えず必要。

※名古屋市の税収 19年度5.165億円（最近の税収額が多かった年）

⇒24年度 減税なしケース 4.796億円 369億円減収

減税ありケース 4.718億円 447億円減収(78億円を減税)

3) 納税者権利憲章制定：日本一喜んで税金を払う気持ちになる市を目指す。



(2) 選挙による地域委員会の拡大 強制ではなく地域の任意手上げ方式

- 「要望する・お任せ民主主義」から、「責任をもって決定する民主主義」へ
 - ※税金の使い方を市民自らが決めるのが、住民自治＝庶民による政治
 - ☆住民自治の理念型は、「税金を市役所に納めて市役所・市議会に決めてもらう」のではなく、「税金納付分の使い道を自分たちで決める」こと。
 - ☆地域委員会では、住民自身が、「何を行って、何を行わないか」の優先順位付けをし、その優先順位に従って、市役所が予算を執行する。
 - ※街路樹の剪定をすることを優先するのか・・・
 - ※保育への補助金に充当するのか・・・

○申請要件の緩和など多様な形での地域委員会を実施する。

※強制的にすべての小学校区に設立する方法ではなく、手を挙げた地域で地域委員会を設立する方法を採用するなど申請要件を緩和する。

○学区連絡協議会も参加者増やす。

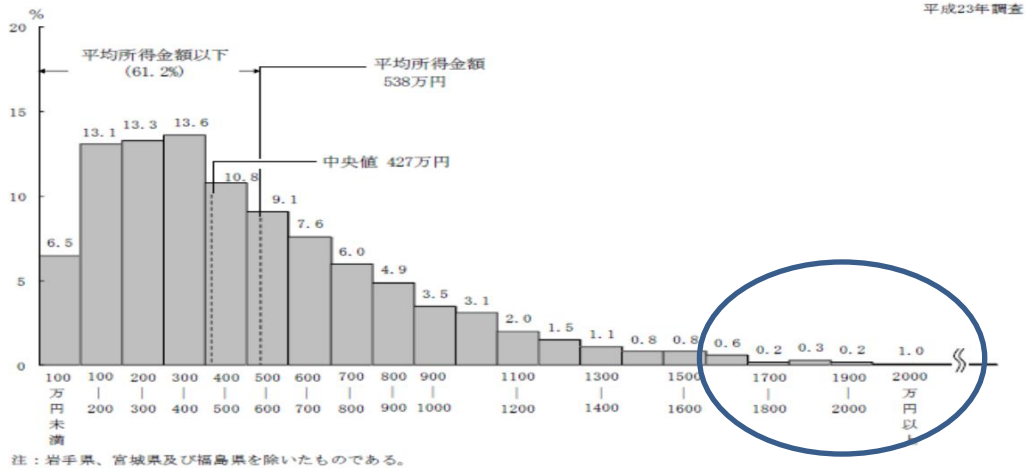
(3) 市会議員報酬、年間 800 万円を恒久化条例案提出

○庶民の市会議員 800 万を恒久化。年収 1600 万円以上は日本の世帯のたった 2%。800 万円以上でも 20%しかいない。

※日本の世帯所得 2000 万円以上は	1.0%	(2000 万円未満は	99.0%)
1600 万円以上は	2.3%	(1600 万円未満は	97.7%)
1000 万円以上は	11.6%	(1600 万円未満は	88.4%)
800 万円以上は	20.0%	(800 万円未満は	80.0%)

- 市会議員は、庶民よりもお金がかかるという。では、一体何にかかるのか。
 - ※生活費か ⇒800万円未満の人々は、国民の80%もいる。少なくはない。
 - ※市議の政策実現活動 ⇒政務活動費 50万円/月が支給されている。
 - ※市議再選のための「地盤・看板・かばん」 ⇒税金で賄うものではない。

図11 所得金額階級別にみた世帯数の相対度数分布



(4) 常勤民間アドバイザー（セカンドオピニオン作り）民間登用

- 1) 行革民営化分野
- 2) 経済性分野
- 3) エンターテインメント分野
- 4) 港（巨大国際展示場など）分野など

(5) 住民投票条例（準拘束型住民直接請求）案提出

1) 「市議会議員の報酬、定数及び重要政策に関する住民投票条例案」提出

- 名古屋市は、住民請求（リコール）の結果、議員報酬を決定
 - i) 議員報酬 800万円を恒久化
 - ii) 将来、議員報酬 800万円を増減する改定をする場合も、民意（住民の決定）による。
 議員が自分の報酬を実質的に決定（＝お手盛り）にしない。

（参考）市議会議員の報酬、定数等に関する住民投票条例のイメージ

- i) 第三者による専門委員会で、報酬案の選択肢と理由を作成する。
 - ☆各政党、住民意見を専門委員会は募集し、公表
 - ☆専門委員会は、寄せられた意見を精査し、選択肢と理由を示す。
 - （注）第三者の専門委員会は、専門家ではあっても「民意」ではない。
- ii) 専門委員会は、一定期間、選択肢と理由について、市民に対する説明会、意見交換会を設け、周知を図る。

- iii) 専門委員会は、ii) のプロセスを経たのち、住民投票にかける報酬案の選択肢を決定する。
- iv) 名古屋市選挙管理委員会はiii) の選択肢について住民投票を実施する。
- v) 市議会は、住民投票の結果に従って、市議報酬条例を改正する。

2) 議員定数についても同様の住民投票条例で決定

3) 名古屋市政上の重要案件（条例に類型揭示）を住民投票条例の対象に。

○検討対象となりうる重要案件の例

- i) 名古屋市の事業：相生山道路事業とヒメボタルの保全など
 - ii) 国等の事業に対する名古屋市の意見形成：木曾川導水路事業への対応
 - iii) 民間の事業に対する都市開発：住宅開発と里山保全など
- (注) 国での法律改正が必要な場合があることに留意

例えば、都市計画法上の開発許可権限は自治事務として市長の権限だが、実際は法律で許可条件がガンジガラメに縛られており、民意に基づいてした判断が法律上違法とされる場合があり、その場合、名古屋市が損害賠償責任を負うことがある。さらに、地方自治法の規定で、最終的に損害賠償が市長個人に請求される可能性もある。したがって、民意に従った判断は、法律違反にならないような法改正が必要。

(6) 議員行政コラボレーション

- 馴れ合いではない議員と市長の2つの民意を実現するため、議員と市長（行政）のコラボレーションを実現。日本初の議会と行政の在り方を作り出す。
- 地方自治は市長、議会ともに公選制。そこでは、政党政治は馴染まない。
- 将来的に無党派、議員個人が尊敬され、責任を持つ政治に。

(7) 市民に開かれた市役所・市議会

1) 答案偽造不正採用事件の真相の徹底解明

- 真相徹底解明、市全般にわたり採用・人事の公正を期する。
- 試験官に民間人を登用するなど、再発防止策を講じる。
- 不正な口利きを根絶する。

2) 「市役所の職務の適正化及び透明化条例（仮称）」案提出

- 二度と口利き疑惑事件が起きないように、
 - i) 名古屋市適正職務サポート制度要綱、名古屋市職員の倫理の保持に関する条例などを抜本的に見直し、
 - ii) 市会議員の市役所職員への口利きや業者と市役所職員との接触などを市民に公開し、職務の適正化を期する条例を提案する。

3) 「市民オンブズマン条例（仮称）」案提出

- 職務の適正を期するため市民オンブズマン条例を提案する。
 - ※市民の権利利益を擁護し、並びに市政を監視し、及び市政の改善を図り、開かれた市政の推進、市民の市政に対する理解と信頼の確保及び市民の意向が的確に反映された市政運営に資する。
 - ※市民オンブズマンの職務範囲や選出方法等、先に制定されている川崎市や札幌市のオンブズマン条例よりも徹底した市民目線の条例を目指す。

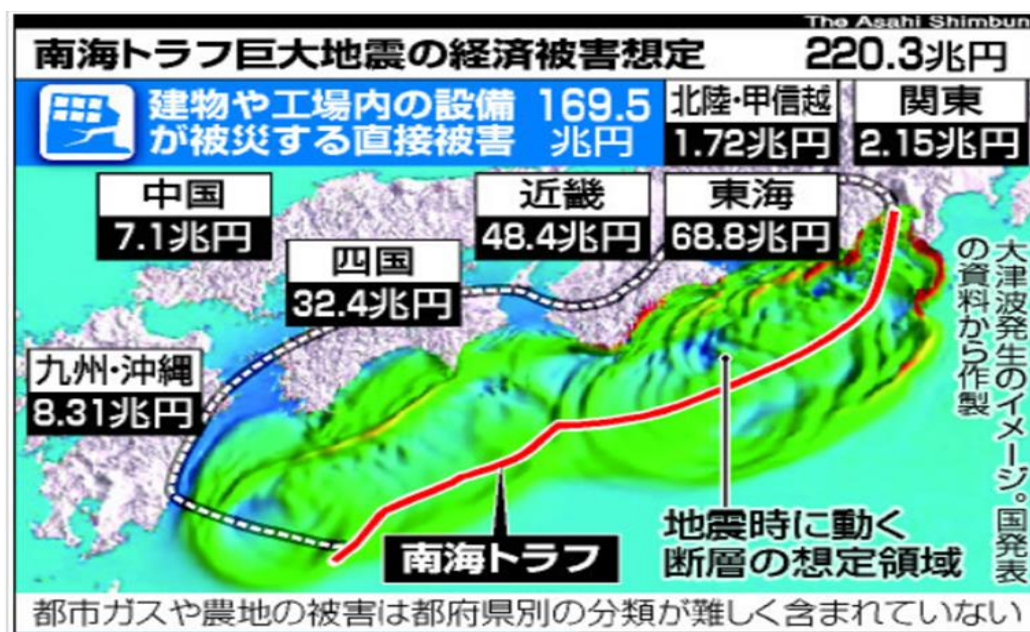
(8) 政務秘書設置

政策2 最強の防災対策

- (1) 南海トラフ大地震対策（空前の大震災に備える）
- (2) 脱原発（放射性物質から市民を守る）
- (3) 風水害対策（伊勢湾台風を忘れない）
- (4) 公共事業は、補修・更新を優先

(1) 南海トラフ大地震対策（空前の大震災に備える）

- 南海トラフ巨大地震の被害想定は愛知県が最大
 - ※直接的被害額30.7兆円
 - ※断水人口490万人（給水人口比65%）
 - ※都市ガスの供給停止75万戸（停止率は57%）
 - ※道路被害4300カ所
 - ※鉄道被害2200カ所
 - ※避難者は1週間後190万人
 - ※発生当日中に帰宅できない帰宅困難者78万～85万人



(朝日新聞より)

- 1) 市長直属の南海トラフ地震防災チームを立ち上げ、企業・住民と協力する仕組みを設けて、大地震に備える。
 - i) 2011年3月11日東日本大震災以降、活発期に入った地震に備える。
 - ※南海トラフ大地震の最悪の被害を想定し、「減災対策」を加速。
 - ※命を救うことを最優先する。
 - 財産被害は復旧可能だが、命はかけがえがない。
 - ii) 地震が起きた時に備える。
 - ※地震・津波の情報伝達手段を確保。
 - ※耐震診断・改修支援、タンス等転倒防止、火災・津波対策
 - ※緊急時の避難路と避難所（例：津波避難ビル、火災避難空地、避難沿道建築物、大規模な避難者利用建物、防災拠点建物）を確保。
 - ※帰宅困難者の滞在・帰宅を確保。
 - iii) 臨時・緊急の生活を確保するためのライフラインを確保する。
 - ※水（災害時井戸の配置）、電気・熱（分散型・自力型電力・熱）
 - ※避難所、トイレ、食糧
 - iv) 災害からの普及が早期にできるよう準備する。
 - ※想定瓦礫の処理計画の策定手順、道路の確保、ライフラインなどの早期復旧対策
 - ※中期的な避難所の確保計画の策定
 - ※名古屋市復興計画（まちづくり）の想定
 - v) 民間における南海トラフ地震対策支援措置の創設

2) 先進自治体の経験を学ぶ。国・愛知県・近隣自治体との連携（広域防災）をして、備える。

※東京都（直下型地震対策）、神戸市（阪神淡路大震災の経験）

※陸前高田東北支援より深化、継続

陸前高田市（現在進行形の復興対策を、On the Job Training で学ぶ）

※国（自衛隊を含む）との連携を密にする。

※大きな被害が想定される愛知県との連携を深める。

※比較的被害が比較的軽微と想定されている近県との連携を強化する。

（2）脱原発（放射性物質から市民を守る）

1) 浜岡原発は廃止、ごく近く（御前崎港）に火力発電所をつくることを中部電力に求める。

2) 福井の原発も廃止目指す。水源地（木曾川流域）を守る。

※廃止されるまでの間の中部電力浜岡原子力発電所・福井の原発の安全対策の名古屋市民への情報開示を要求。

3) エネルギーの地産地消。地域分散型エネルギーの推進

4) 市民避難マニュアル作成・食品チェック

i) 市民避難マニュアル

※原発事故による名古屋市の放射能被害の想定を行う。

※放射能被害想定に基づき災害医療救護活動マニュアル原子力災害編作成。

ii) 放射性物質による食品の厳しい安全チェックを行う。

（3）風水害対策（伊勢湾台風を忘れない）

1) 市民説明会をすぐに実施

2) 庄内川災害を教訓に避難体制の徹底（ex 避難所校門が閉じていた）

3) 避難路沿道建築物、大規模な避難弱者が利用する建築物、防災拠点の耐震診断、改修支援

4) 国、県、市、行政全力投球（堤防、情報、避難、救援など）。

5) 福祉に消防団など、行列のできる消防団を作る。

6) 古文書等により、地域ごと過去の災害を検証する。

7) 町内ごとにきめ細かい、例えばタンス転倒防止など消防職員による説明

8) 各家庭ごとの浸水予想シールを配布して、洪水に備える。

9) 伊勢湾台風の日（9月26日）に黙祷する。

（4）公共事業は、補修・更新を優先

○道路・橋・上下水道など市民生活に直結するインフラの点検を実施。計画的に補修・更新を行う。インフラの有用性評価を行い、廃止統合も検討する。

○補修・更新を優先。新規インフラの整備は、防災上緊急に必要なものを優先。

政策3 福祉に教育に あったきゃあ市民。

- (1) 日本一の医療都市ナゴヤ さらに高みへ
- (2) 子どもの悲鳴、高齢者の悲鳴、自殺対策
- (3) 子どもを大切に

待機児童ゼロ政策継続、教育から education へ

- (4) お年寄りを大切に
- (5) 障害を持った方を大切に
- (6) 生活支援の充実

(1) 日本一の医療都市ナゴヤ さらに高みへ

1) 市民にあったきゃあ名古屋市の医療制度

- i) 中学生医療費無料化継続
- ii) ワクチンで日本をリードする
- iii) 「ワンコイン(500円)がん検診」継続
- iv) 救急たらい回しゼロ

2) 市民一人ひとりにマイお医者さん制度を推進

- i) 市民全員が「マイお医者さん」を持つ。
 - ※医師会・地域委員会などと連携し、「マイお医者さん」制度を促進する。
 - ※「マイお医者さん」制度による健康管理・予防注射などの仕組みを整えて、市民のメリットを増やす方策を検討する。
 - ※中学生通院医療費無料化。
- ii) 「マイお医者さん」間の紹介・連携
 - ※「マイお医者さん」の間で、専門分野(子ども・婦人科など)について紹介機能を充実する。

3) 中核的医療機関を整備

- i) 名古屋市立病院などにおける高度医療の整備
- ii) 中核的医療機関の整備と「マイお医者さん」との連携

4) がん対策日本一を目指す

5) 予防接種広域化を実現

6) 消防局。救急車、救急出動体制の充実検討。

- ※陽子線がん治療（キャンサーボードによる確かな医療）設備の広域利用
- ※早期がん予防（名市大生とのコラボ）

(2) 子どもの悲鳴、高齢者の悲鳴、自殺対策

○虐待ゼロ、いじめゼロ、孤立死ゼロ、ぬくとい市民のマチ・ナゴヤを実現。

1) マンパワー拡大（ロス出張の成果）

- ※広報なごやで市民活動希望者募集
- ※子育てパウチャー制度導入
- ※24時間保育
- ※ハイテク不登校支援（ハイテク技術トレーニングに不登校生徒）
- ※不登校児に警察OBボランティア

2) 横割り公務員（ワンストップ・サービス）によるマンパワーの活性化

- 【例】 ※市職員を、ワンストップ・サービスを行う「横割り公務員」として、立候補者の中から選抜して置く。
- ※学区に2人、1期2年、2期から3期までとする。
 - ※学区居住、あらゆる行政サービスの相談窓口となる。

3) 校長が責任者（責任体制を明確化）

- ※いじめの責任の明確化。責任は校長にある。

4) 準司法手続による家庭からの隔離

5) 学生が学習支援、市営住宅孤立老人支援など

- ※学生（名市大など）学習支援、市営住宅入居など

6) Inclusion : 障害などすべて一人一人の個性と考える社会

(3) 子どもを大切に

1) 待機児童ゼロ政策継続

- i) これまでの施策を更に推進
- ii) 「名古屋市保育施策検討会議中間報告」（平成23年10月）を踏まえ、営利法人を含め、安心して子供を預けることができる保育所の増加を図る。

2) いじめ撲滅

- i) 「学校教育現場オンブズマン会議」（仮称）を設置

※教育委員会及び学校現場におけるいじめ対策の透明性を確保するため、行政（市役所・教育委員会）・教育現場（学校）も参加しての広く市民が議論できる場、「学校教育現場オンブズマン会議」（仮称）を設置。

※「学校教育現場オンブズマン制度」の設置を含む行政の措置に関する勧告に基づき、教育現場の「閉鎖性」を改善し透明性を確保するなど必要な措置を講じる。

ii) 地域委員会

※学区単位で設けられる「地域委員会」の役割も検討する。

3) 教育から education へ

i) 教育委員会の名称を、「education（エデュケーション）委員会」または「人づくり委員会」など適切な名称に改称

※人間の様々な個性を引っ張り出し応援する

※根本の精神、根本の制度を変える

ii) 教育財産の開放（空き教室、グラウンドの調査・活用）

※管理権を市民、市役所へ

iii) 精神科学校医の配置

iv) 3～5分間スピーチ（学校で、原稿無しで生徒が演説）

v) スポーツ文化施策・海外視察

vi) 県費負担教職員の給与費を県への市からの上納金と相殺

≪参考：教育の「教」≫

「教」の「久」はムチの意味である。

※educationの「e」は外へ、「duce」は引っ張ること

※educationにはムチで無理やりの意味はない。教育とエデュケーションは実は意味が違う。

(4) お年寄りを大切に

1) 敬老パス堅持 さらに利用拡大

2) 介護特区（名古屋独自の介護制度）

3) 「はつらつ長寿プランなごや（名古屋市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）」（平成24年3月）の執行管理の徹底

i) はつらつ長寿プラン実施管理委員会（仮称）を設置

※本格的な高齢化社会に対応した施策を確立するため、「はつらつ長寿プランなごや」の進捗状況をも管理し、評価するための「プラン実施管理委員会」を設置する。

※医療・介護・福祉のシームレスな政策の工程表を取りまとめる。

ii) 実態調査の実施

※「プラン実施管理委員会」と並行して、民間の「医療・介護・福祉」の

経営者及び市民からの意見聴取・調査を行う。

※事業者と市民の関心の喚起を行うとともに、「プラン実施管理委員会」の資料とする。

iii) 高齢者対策ラウンドテーブル設置による工程表の着実な実現

※工程表を着実に実現するために、幅広い関係者からなる「高齢者対策ラウンドテーブル」を設置し、進行管理を監視する。

4) 調査研究・助言機関として「高齢者調査研究センター」(仮称)又は総合的連絡会議を設置

※名古屋市立大学に「高齢者調査研究センター」(仮称)を設置し、行政・経営者・従業員・市民に対し、専門的見地から助言をする。または、総合的連絡会議を設置する。

5) 巣鴨とげぬき地蔵ナゴヤ版検討

※おばあちゃん原宿



(厚生労働省国立社会保障・人口問題研究所が2013年3月27日に公表。写真は産経新聞)

(5) 障害を持った方を大切に

1) 障害者差別禁止条例制定

2) 3障害(身体障害・知的障害・精神障害)一元の実質的実現

※特に精神障害者福祉サービス窓口の一元化

3) 重度心身障害者施設充実

4) 災害時の障害者支援

※南海トラフの危険がある中、要援護者支援対策の策定に際して、障害当事者も含めた計画づくりを進める。

(6) 生活支援

1) 民間戦災障害者援護見舞金の給付継続

2) 交通事故・犯罪などの被害者遺族支援体制の構築

3) 交通3悪根絶都市宣言

政策4 最強の経済を創ります

ナゴヤ・アイチ人口増への挑戦

- (1) 庶民経済（中小企業）の活性化
- (2) 世界の産業、商売No.1ナゴヤの創造
- (3) 脱原発で経済活性化

(1) 庶民経済（中小企業）の活性化

- 自動車、航空宇宙、工作機械を中心とする、名古屋地域世界最高の技術を中小企業が利用し新分野(福祉など)に進出できるよう、支援に全力投球。
- 後継者(ムスコなど)が後を継ぐ、そして新しい業種に挑戦など、その気になってもらえるように様々な支援。

1) 中小企業「代替わり」(事業承継)を支援

- ※中小企業代替わり支援利子補給制度 or 補助金制度を創設
- ※中小企業振興センターの事業として実施を想定

2) 「中小企業出前相談会」の実施

- ※中小企業振興センターが中心となり、区役所・出張所で「出前相談会」を開催し、中小企業の要望を聞き、更なる制度創設につなげる。

3) 中小企業への設備投資支援

- ※商売を盛んに

(2) 世界の産業、商売No.1ナゴヤの創造

- 日本最強の産業基地ナゴヤ、税金(年貢)の安いマチ、名古屋市民1人当たりの所得を日本一を目指す。(現在東京に次いで2位)
- 名古屋市債、日本国債への正しい理解。今の市債、国債はいわゆる借金(家計が他人のサイフである銀行から借りるおカネ)ではない。金利も超低金利。景気回復に過度にためらってはならない。

1) 市役所の産業振興体制を充実

- ※市役所の産業振興などの担当者が3年で移動する現行の人事制度を改め、プロの担当者を育成する。もしくは産業振興部門丸ごと民営化

2) 名古屋港に巨大国際展示場を開設（拡充）

※名古屋市国際展示場ポートメッセ（現在 3 万 4000 m²）を 10 万 m²以上
日本 1 の巨大国際展示場に拡充

3) 日本版 M I T 設置（工業系巨大カレッジ）の創設を提唱・支援

※名古屋市・愛知県にある工業系大学の連携を提唱、支援

4) 企業支援業務を拡大

i) 企業と協力して、渉外商務・訴訟相談センターを開設

※名古屋市の企業が海外に投資するに当たっての相談業務

※外国政府、海外企業との紛争対策に関する相談業務

※特許・訴訟対応に関する相談業務

ii) 知的所有権への対応策を支援

※知的所有権の取得、クレームに対する対応策等の相談業務を充実

※名古屋産業振興公社（名古屋市新事業支援センター）と中小企業振興
センターのタイアップ事業として実施を想定

5) 地域再投資化条例

※銀行が名古屋愛知地区にどれだけ貸出しをしているか公表する。

(3) 脱原発で経済活性化

○原発のない経済は大きな立地メリット

○中部電力の大消費地名古屋の脱原発政策で経済活性化

○エネルギーの地産地消。地域分散型エネルギーを実現

1) 名古屋市省エネ本部を設置・中部電力に対する情報開示請求

i) 名古屋市エネルギー対策本部（仮称）を設置

ii) 名古屋市エネルギー対策本部が中部電力・国と協力、電力計画策定

※停電など不測の事態に的確に対応する「電力の需給データ」開示請求。

※電力料金の適正さを判断する「電力価格に関するデータ」開示請求。

2) ナゴヤ発電所・節電所を設置・支援

i) 名古屋市の施設による発電ポテンシャルを調査し、発電所を設置

ii) 省エネルギー・創エネルギー・蓄エネルギー投資、災害対策投資助成 制度（利子補給 or 補助金制度）創設

※無駄無理のない省エネルギーの「恒常化」を促進する商店街

※災害時にも有効な分散型エネルギー（電気・熱）システム

※屋根借り発電などの民間発電事業者を支援

3) 街づくりの過程で、省エネルギーに配慮

※冷房のいない街、緑の回廊・水の回廊・風の通り道

政策5 どえりゃあ おもしろいナゴヤ 平成の楽市楽座

- (1) ナゴヤの歴史・風土・芸術文化を創る
- (2) 世界に一つのイベントで名古屋を盛り上げ
- (3) 名古屋のニギワイの創造
- (4) 市役所の態勢整備

(1) ナゴヤの歴史・風土・芸術文化を創る。

- 1) 尾張7代藩主徳川宗春公再現プロジェクト。宗春公をNHK大河ドラマの主演に。庶民の政治、お祭り復活など。
- 2) リニア。名駅・栄地区の盛り上げに全力。 ترام(路面電車)なども。
- 3) 世界に1つ 本物で勝負。 世界で1つの走るSL(蒸気機関車)博物館など。
- 4) 地域委員会など民主主義もおもしろい。
- 5) 総合エンターテイメント局又はコンベンションビューローの強化、民営化など
- 6) SKE48 OS☆U しゃちほこ デラ、など大応援(もれとつたらごめん)
- 7) テレビマスコミ 積極的名古屋発信
- 8) 次世代ETC
- 9) 世界交通会議
- 10) 街中博物館構想(旧町名復活・街中に銘板(古写真)設置など。歴史探研究会やNPOなどを支援。郷土の歴史を大発見)
- 11) 歴史的建造物・路地・かいわい・巨木などの保存活用

(2) 名古屋の祭りのプレーアップ

- 1) ナゴヤの祭りをプレーアップし、日本やアジアにPRし、観光客を誘致。

【例】 ※300年前の東照宮祭を復活。京都祇園祭級とし1000年後まで継続。

- ※日本やアジアにPRし観光客を誘致
- ※庁舎内その他各地に5英傑の彫刻展示
- ※名古屋駅前ぐるぐる巻きの変更
- ※手羽先ワールドカップなどB級グルメ選手権を開催
- ※世界コスプレサミット

- ※サテライト動物園 トラ・オオカミが走る
- ※どまつりの盛り上げ

2) 交通系イベントで名古屋を盛り上げ

- 【例】 ※世界に1つ、世界に1つ 本物で勝負。世界で1つの走るSL(蒸気機関車)博物館など。
 - ※次世代ETC、世界交通会議
 - ※名古屋大都市公道自動車レース
 - ※航空宇宙産業振興(子どもが親しめるようなとりくみ)
 - ※鉄道の聖地ナゴヤ構想の実施
 - ※あおなみ線に世界の本物SL(B6動かす。D51など日本SL取得。あおなみ線、アルプスSL、シベリア鉄道、アジアSLの定期運行。大陸横断鉄道、南米 アフリカSLなど、レゴランドトレイン・トーマス新造)
 - ※あおなみ線をセントレアまで延伸(橋がベスト)
 - ※ささしまに転車台を設置(鉄道動態博物館)。金城埠頭 JR博物館とコラボの規模)
 - ※中川運河ボートレース

(3) 名古屋のニギワイの創造

1) 街角のいたる所で音楽が奏でられ、市民が気軽に文化芸術に触れる

- 【例】 ※大道演奏・ダンススペース、学生アーティストのたまり場を提供する広場・空間の創出の支援。
 - ※消防局・自衛隊・県警・学校バンド、音楽隊パレード合戦、大津通りパレード通り
 - ※街中コンサート クラシック(名フィルなど)からジャズ、演歌 路地、地下鉄、地下街など
 - ※市主宰の行事前にコーラス
 - ※金シャチ横丁(芝居小屋)の支援
 - ※広小路・屋台復活

2) 大学と人が集まるニギワイの場の結合

- 【例】 ※大学タウン(例 早稲田大学と早稲田商店街)
 - ※大曾根・今池・大門など盛り場に学部を(オープンキャンパス)

(4) 利便性の拡大

1) 市役所の態勢整備

- 【例】 ※総合エンターテイメント担当局長の創設
 - ※コンベンションビューローの強化・民営化など

2) 「ナゴヤパス」の創設

(注：ナゴヤパス)

「歴史のまち」、「道しるべのまち」としてのナゴヤ（熱田神宮から御三家筆頭尾張藩そして現代へ）を楽しめるよう、ヨーロッパの都市で発行されているような、交通機関と施設の料金が一体となった観光パスを発行。

3) 国際都市化 全域の英語併記 多言語化

【例】 ※外国人ボランティアによる多国語による市サービスの導入

4) 情報発信

【例】 ※SKE48 OS☆U しゃちほこ テラ、など大応援
※テレビマスコミ 積極的名古屋発信
※地域委員会など民主主義もおもしろい。

5) 名古屋市の施設の開放など

【例】 ※市公館の市民への開放、
※金・土・祝前日深夜地下鉄運行 課題検討
※名城住宅跡地 中国総領事館ではなく市民のために活用

政策6 環境に配慮した街づくり

- (1) 土・水・風・緑の復活
- (2) 既存社会資本を活用したコンパクトな街づくり
- (3) 長良川河口堰・木曾川導水路・相生山

(1) 土・水・風・緑の復活

○日本と日本人を育んだ「原風景」を復活、水と緑の潤いある街

※近代以前に歴史的に形成されてきたナゴヤは、災害への備えを考量した自然と共に歩んできた街、自然的条件を尊重した水と緑の配置を確保

1) 水と緑の拠点を創出

- i) 堀川等の親水地域の確保
※ソウルの清溪川（チョゲチョン）プロジェクトは大都市における先例
- ii) 堀川の川干し 堀川に環境NGOたまり場、400年歴史的環境復活の聖地に堀川導水復活
- iii) 東部丘陵の緑地保全の推進
- iv) 名古屋港の浄化
- v) 庄内川・矢田川堤防道路を大公園化

- vi) 市民レクリエーション
 - ※市民大農園／水の里山 港区南陽地区
 - ※身近な公園でバーベキュー大会
- vii) 日本一うまい水、さらに高みを目指す。

2) 緑の回廊、水の回廊、風の通り道の設計・快適空間創造

- ※運河と山崎川、東西南北の川を利用した水と風の道
 - ☆都市計画における設計と市民への周知
 - ☆道路行政、河川行政当局との協力
- ※公衆トイレ美化（一輪挿しでも）

3) 名古屋の緑を固有種に転換

- ※宮脇昭さんの固有種の森と防災効果に着目

(2) 既存社会資本を活用したコンパクトな街づくり

1) 既存資産を活用、緑を破壊しての住宅建設は抑制

- ※少子高齢化の進展とともに、市内でも空き家が増加している一方で、新規の住宅建設は、社会資本の効率的利用に反する。
 - i) 「市内の空き家対策」に本格的に取り組む。
 - ii) 「郊外での緑を破壊しての住宅建設を抑制」することとし、これらの地区での容積率の緩和は認めない。
 - iii) 緑地の買い上げ会計特別勘定を設けスピード感をもって買い上げ実施
 - iv) 名古屋市が有している土地の有効活用は、空地・緑地など都市の潤いある空間や公共施設に使用することを基本とする。

2) 名古屋市内の自転車道路計画とその着実な実施

- i) 愛知県警察など関係者と連携し、自転車道路を整備する。
- ii) 駐輪場の整備
- iii) 自転車ルールの徹底
- iv) 自動車からの荷捌き所の設定・荷物押し車（クロネコヤマト方式）

3) 都市内空間の創出

- i) 久屋大通の都市内空間化
 - 【例】 ※久屋大通公園道路を20ha大公園化
 - ※名駅、名古屋城、久屋大公園トラム
 - ※世界の路地（パリ、ロンドン、ニューヨーク、法善寺横丁、新宿ゴールデン街など）正確復元。音楽、飲食、パフォーマンスをトラムで結ぶ。
 - ※久屋大通公園常設テント設置
 - ※久屋大通公園の桜通北地区市民テント、ログハウス村
 - ※大津通の中央分離帯撤去、パレード通りへ

ii) 歩道橋・地下道を使わなくても歩ける道路地図整備

(3) 長良川河口堰・木曾川導水路・相生山

- 1) 長良川河口堰開門調査の実現
- 2) 木曾川導水路は不要、徳山ダムは広く伊勢湾浄化の為に使用
- 3) 相生山(弥富-相生山線)は住民投票で 住民自ら高度な責任ある判断を

政策7 大村愛知県知事との連携

(1) 中京都への取り組み

(1) 中京都への取り組み

- 1) ナゴヤ、アイチを合体(中京都、名称は別に議論)
 - ・規模は尾張ナゴヤ共和国かアイチナゴヤ県か。
 - ・ナゴヤの分割はなく、人口で400万めざす。
 - ・立法権、財政自主権も有する準独立をめざす。
- 2) ナゴヤ大都市公道自動車レース
- 3) ウィメンズマラソン世界規模へ
- 4) 高速道路ネットワークのリニア結節と、名古屋駅地区の大再開発

政策8 南京事件 日本国内で自由な議論

政策9 マイナンバー反対

- 国民総背番号制で収税増強は誤解。かえって途方もない、なりすまし被害、税金無駄遣いとなる

政策10 前・前・前マニフェスト継続

- 平成21年4月市長選マニフェスト
- 平成23年2月市長選マニフェスト
- アイチ・ナゴヤ共同マニフェスト

新新新第2期マニフェスト 別表

【三大公約継続プラス】

- 地域委員会の拡大 申請要件緩和と学区連絡協議会にも多くの住民参加
- 寄付文化醸成 社会企業、NPOを実質的に支える
- 市議会本会議市民3分間スピーチ（パブリックコメント）

【防災（伊勢湾台風を忘れない）】

- 過去の災害検証（古文書等）
- 水害の際の予想、浸水水位を家の中で確認するためのシールを各家庭配布
- 9月26日黙とう
- 陸前高田東北支援。さらに深化、継続

【子どもの悲鳴、高齢者の悲鳴、自殺対策】

- ロス出張の成果（児童虐待・いじめ・不登校・自殺対策など）
- 介護特区（名古屋独自の介護制度）
- 学生（各市大など）学習支援、市営住宅入居など
- 24時間保育
- 準司法手続による家庭との隔離
- 子育てバウチャー制度導入
- 待機児童ゼロ継続
- 広報なごやで市民活動希望者募集
- ハイテク不登校支援（ハイテク技術トレーニングに不登校生徒）検討
- 不登校児などに警察OBボランティア

【市政改革】

- 参謀部設置
- 行革応援団
- 区役所民営化
- 外郭団体徹底検証 天下りと補助金総点検
- 総合エンターテイメント局長
- 副市長・区長・行政委員会委員などの公募
- 各市大とのコラボ（養護学校、市営住宅、住民支援、健康支援、生活保護世帯、学習支援）
- 常勤民間アドバイザー（セカンドオピニオン作り）民間登用
- 横割り公務員
- コンベンションビューロー分割民営化など強化
- 市バス運転手との懇談
- 議員行政コラボ（馴れ合いではない議員、市長2つの民意を実現。日本初の議会と行政の在り方へ、地方自治は市長、議会ともに公選制。そこで、政党政治は馴染まない。将来的に無党派、議員個人が尊敬され、責任を持つ政治に）
- ナゴヤ発電（エネルギー問題）
- 国際都市化 全域の英語併記 多言語化 外国人ボランティアによる多国語による市サービスの導入

- 納税者権利憲章制定 日本一喜んで税金を払う気持ちになる市を目指して
- 隣国韓国と仲良く

【教育から education へ】

- education 委員会、又は人づくり委員会などへ教育委員会の名称変更
- 教育財産の開放(空き教室・グラウンド 例:保育・お年寄り施設など活用)、管理権を市民、市役所へ
- 精神科学校医の配置
- ロス出張の成果
- 3～5分間スピーチ&ディベート(小中学校でノー原稿で生徒が演説)
- スポーツ文化施策・海外視察
- 県費負担教職員の給与費を県への市からの上納金と相殺など市から直接教職員へ支払い 検討

【どえらけにゃあおもしろいナゴヤ】

- 尾張名古屋共和国 尾張(三河)全体で盛り上げ 知多の海
- 学生と盛り場(大門、今池等)例えば高田馬場早稲田、三田慶応の名古屋版学生タウン作り
- 学生アーティストのたまり場
- 世界コスプレサミット どまつり 盛り上げ
- 庁舎内その他各地に5英傑の彫刻展示 名古屋駅前ぐるぐる巻きの変更
- 名古屋港にナゴヤ版MIT(マサチューセッツ工科大学)
- 金シャチ横丁(芝居小屋)
- 名古屋城木造本物天守閣再建 東北すみやぐら復元
- 本丸御殿で本物障壁画を年間1～2週間でもかつてあったところに展示リピーターが来てくれる
- 金の茶釜を溶かして触れる金シャチ作成(400年前本物の金シャチ)
- 山車(300年前東照宮祭ルート他再現)本物のナゴヤまつりを1000年後まで
- 国際展示場の拡大 10万㎡から30万㎡目標
- 航空宇宙産業振興(子どもが親しめるようなとりくみ)
- 市街地公道自動車レース
- 旧町名の復活
- 公衆トイレ美化 一輪挿しでも
- 鉄道の聖地ナゴヤ構想の実施
- あおなみ線に世界の本物SL(蒸気機関車)定期運行 市科学館にあるB6動かす D51など日本SL取得 アルプスSL シベリア鉄道 アジアSL 大陸横断鉄道 南米 アフリカSLなど
レゴランドトレイン トーマス新造
- あおなみ線をセントレアまで延伸 橋がベスト
- ささしまに転車台を設置(鉄道動態博物館)金城埠頭 JR博物館とコラゴ
- 世界に1つ、「本物乗り物の聖地ナゴヤ」へ 自動車も港に、サテライト動態博物館 2～3泊で全部まわれるくらいの規模
- 中川運河世界ボートレース 水道管工夫

- 運河と山崎川、東西南北の川を利用した水と風の道
- 久屋大通公園道路封鎖（20ha 大公園化）酒飲み解放区 サテライト動物園トラ・オオカミが走る。 名駅、名古屋城、久屋大通公園トラム。 世界の路地正確復元、パリ、ロンドン、ニューヨーク、法善寺横丁、新宿ゴールデン街など、音楽、飲食、パフォーマンス トラムで結ぶ
- 久屋大通公園常設テント設置
- 久屋大通公園の桜通北地区市民テント、ログハウス村
- 大津通の中央分離帯撤去、パレード通りへ
- 名古屋港の浄化
- 名古屋港。 港・運河を巡る楽しい水上交通網（産業見学も）
- セントレアと県営名古屋空港民営化 競争
- 庄内川・矢田川堤防道路閉鎖 大公園化 正面衝突幸せ家庭の一瞬崩壊 何もしないとすると人災か
- 市民大農園／水の里山 港区南陽地区
- 身近な公園でバーベキュー大会
- 広小路・屋台復活
- 堀川の川干し 堀川に環境NGOたまり場、400年歴史的環境復活の聖地に 堀川導水復活
- 名城住宅跡地 中国総領事館ではなく市民のために
- 街中に銘板（古写真）設置、歩いて楽しいナゴヤの街
- 消防局・自衛隊・県警・学校バンド、音楽隊パレード合戦 大津通りパレード通り
- 日本一うまい水、さらに高みを目指す。
- 市公館の市民への開放
- 名誉市民庶民表彰 ナゴヤの名誉市民表彰はえらい様ではなく庶民へ 名もない人々へ市民から *thank you very much*
- 市主宰の行事前にコーラス
- 職員合コン
- 街中コンサート クラシック(名フィルなど)からジャズ、演歌 路地路地、地下鉄、地下街など
- 金・土・祝前日深夜地下鉄運行 課題検討
- 寄付頂いた皆様の氏名表示
- 写真付き感謝状